

返子市令和4年度の重点的な取組み

○カーボンニュートラル推進事業

2050年の脱炭素社会（カーボンニュートラル）の実現に向けた、取り組みを加速させる。

- ・地域の再生可能エネルギーポテンシャルや将来のエネルギー消費量を踏まえた再エネ導入目標を作成し、地球温暖化対策実行計画を改定するための調査 1,270万8千円
- ・移動の脱炭素化を目的とした公用車の電動（EV）化及びシェアリングシステムの導入 52万3千円
- ・EV公用車を災害時の非常用電源として活用するための設備の導入 335万5千円
- ・再エネ・省エネ・蓄エネ設備の導入費用等の補助金 700万円

○空き家対策

空き家バンクの運用に加え、相談体制を充実させるとともに補助制度等を創設し、不動産流通の促進に注力する。

- ・空き家の流通促進を図る費用 357万5千円
（内訳）
 - ・空き家所有者の個々の事情を解決するために専門家を派遣したり相談会を実施する空き家アドバイザー制度の経費 7万5千円
 - ・その事情を具体的に解決するために権利関係の整理や空き家の解体等、幅広く活用できる補助金制度をモデル事業 350万円（70万円×5件）

○狭あい道路整備

事業者等に補助金を交付する制度を創設する。事業者等が後退用地の測量、分筆、寄附及び整備を行った場合に補助金を交付する。

- ・1,310万円（前年度 497万円増）

○中学校「給食食缶方式」への移行

令和4年9月から食缶方式による中学校給食を開始する。

現在のボックスランチ方式ではアレルギー対応を行っていないが、食缶方式へ切り替えた折には、調理過程における除去により、小学校給食同様アレルギー対応が可能となる。

今まで以上に全員喫食に近づき、クラス全体が同じ食事を摂り、給食本来の目的である学級全体での食育の指導も可能となる。